

県議会での活動、1年間を振り返り

日頃は、さち茂人の活動にご理解を賜り、誠にありがとうございます。

また、昨年はお力添えによって議席を頂けたこと、深くお礼申し上げます。

早いもので、3期目の議会活動は1年が過ぎました。令和元年度は議会の会派では、政務調査会の筆頭副会長として多くのことを経験させていただきました。県議会では、建設委員会の委員長として委員会の取りまとめや風水害・ゲリラ豪雨等の早期対応に力を入れてきました。

県内全域は広く、実際に現場を目で見て、地域の特性を学ぶことが多い一年であり、一方で、子供の安全対策、豚コレラ対策、JRリニア新幹線水問題、台風19号被害、そして、新型コロナウイルス感染症など多くの喫緊の課題に直面した年度でもありました。

具体的には、6月定例議会で会派代表質問を行い、7月は参議院選挙、8月は政務調査会にて県内すべての市町支部の要望ヒアリングに出向き、10月の台風19号被害では、素早い被害状況の調査と対応要請を県に行いました。同じく10月には、大井川水域8市2町すべてのまちを訪れて、リニア新幹線工事について市長・町長と意見聴取を行いました。

年が明けて2月定例議会では、異例の2年連続2回目の一般質問を行いました。本当にあつという間に月日が経ちました。2月定例議会では、議会最終日にコロナ対策の環境整備と経済対策が間に合ったこと、一刻も早い支援策を講じた県当局に感謝いたします。

一年を通じて印象に残ったことは、「激甚化したゲリラ豪雨や停滞時間の長い最近の台風への対策は今までやってきた整備では駄目である(歯が立たない)」との言葉です。今後は河川整備と水門、砂防等の整備を連携して行うとともに、避難勧告を最優先とした人命第一のソフト対策事業もセットで行っていきながら、今後の風水害に備えることが重要になります。そして、河川・道路の新規事業として、わが会派から知事へ要望(また県土強靱化対策事業費(30億円)がR2年度予算に組み込まれたことは、大いなる成果でありました。また、静岡海岸の津波防潮堤かさ上げにつきましても、少しでも早い整備を進めていきます。

結びに私、さち茂人はR2年度もますます県民のための県政運営に汗を掻き、力を注いで参ります。そして、国民全体でコロナの終焉に向かって協力し、穏やかな日常を迎えることをお祈りして、新年度の挨拶とさせていただきます。

静岡県議会議員 佐地 茂人



建設委員長として議事進行を行っている様子



台風19号被害への緊急要請を知事へ申し出を行う

令和2年2月定例議会では、本会議にて一般質問を行いました。

- 1) 県は中部地域において、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトで産業・経済を推進してきた。次期計画は「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」となるが、具体的な戦略について伺う。
- A) 知事からは、フーズサイエンスヒルズプロジェクトで290件の製品が事業化され、本県の食品・飲料等の合計付加価値額は、16年連続で全国1位となった。近年、ヘルスケア分野が急速に成長し、介護予防等フレイルへの対策と社会健康医学のように病気や運動機能低下を予防する取組が重要となってきた。来年度には静岡市で社会健康医学大学院大学を開学する。このような取組から「食」を中心的役割の一つとし、機能的食品などの開発をさらに進め、ヘルスケアビジネスの展開を図る。
- 具体的には、フレイルや認知機能の改善などに関与する新素材の探索機能の強化と「食」の付加価値の高い製品開発を支援する。また、県立大学のリビングラボのデータを分析し、地域企業やベンチャー企業が新しいビジネスにつなげる支援を行う。
- また、金融を加えたビジネスマッチングと企業の製品化により、オープンイノベーションを起こし、市場ニーズに対応した商品開発と販路開拓まで一貫した支援を行う。と話され、経済産業部長からは民間の活力をさらにアップさせるような支援を積極的にヘルスケア分野でやる。との答弁がありました。
- 2) 東静岡駅南口の県有地活用については図書館の整備以外の次期整備についてはどうするのか。また、静岡市と連携し、賑わいを創出するために駅北側の市有地の活用と一体的に進めて行くべきだとの意見について、
- A) 難波副知事より、来年度、建設事業者や飲食や宿泊、教育関係等の様々な分野の民間事業者の意見を聞き、新たに導入する機能を検討する。文化観光部長より、市と早々に連絡協議会を立ち上げて、東静岡駅周辺に若者をはじめ多くの人々が訪れ、交流するまちの将来のイメージを作成し、民間事業者にお示ししていく。投資意欲にプラスの効果を働かせたい。との答弁がありました。
- 3) 地籍調査について、静岡市ははまだ約3%の進捗にとどまっており、津波や大規模災害時の復旧と復興には地籍調査は重要である。都市部や津波浸水想定区域の早期調査のために県は今後、どのように促進していくのか。
- A) 津波浸水想定区域内の人口集中区域、いわゆるDID地区を最優先で進めることとしており、立会作業等について市町の職員と相互に融通しあう共同実施を活用し促進している。未実施地区については、地籍調査に先行して官民境界を明確化する指標を位置付けており、県が主体となって緊急輸送路等の早期復旧を可能とする主要道路等の官民境界調査を先行する。さらに、地籍調査の効率化を図るため、3次元点群データを活用し、現地での境界立会を不要とするリモートセンシング等の先進技術の導入に取り組んでいく。静岡市については、清水地区をはじめとして都市部の津波浸水想定区域が遅れている状況であり、積極的に指導と支援をしていく。との答弁がありました。
- その他、*日本平の山頂部の魅力維持について、次年度、夢テラスへの登り口対策として電動カートの本格実施のため夏・秋・冬の各1か月間、実証運行を行う。また、夢テラスの前庭に四季折々の花を楽しむ庭園とその魅力をSNS等でアピールしていく。さらに静岡市や指定管理者等と連携し、前庭や芝生広場を会場としたイベントを開催するなど魅力向上に取り組む。との答弁がありました。
- *茶産地の構造改革を進める基盤整備推進では、駿河区の東豊田池田地区は令和2年度に事業採択され、実施設計に入り、ハード整備を行う予定である。すべての完成は、令和7年度予定。隣接する国吉田地区は関係者への事業内容や効果等の説明会を通じて合意形成や計画策定に取組み、速やかな事業化を図る。との答弁がありました。
- また、*アスベスト対策 *新学習指導要領の実施に向けた取組、小中学校全国学力・学習状況調査の活用について *警察署の整備方針については、警察署の施設の整備順序は事件・事故の発生状況や地域住民の利便性をはじめとする様々な事情に配慮しながら、警察機能を最大限発揮できる用地を選定していく中で、適切な用地の取得に目処が立った場合には、整備順序の入れ替えについても検討する。(静岡南署を想定しています。)との方針が述べられました。



日本平夢テラスにて

新型コロナウイルス感染症について…

新型コロナウイルスが世界規模で猛威を振るっております。4月7日に政府から「緊急事態宣言」が発令され、更に5月4日に安倍総理から延長する意向が国民に伝えられました。一体いつまで…そろそろ頑張ってきた我慢の糸が切れて、または生活が成り立たず、踏ん張りがきかず事業をやめざるを得ない。そんな、イライラや不満が爆発しそうです。

人間は「いつまでだから頑張ろう」と目標が明確になれば踏ん張りやすいと思います。でも、終息がいつになるのか分かなければ、不安と限界が訪れます。それが今一番心配です。

他県では、自宅待機の感染者が亡くなってしまうこともありました。軽度感染者や無症状感染者の受け入れ先(100床)は昭和町の東横イン(借り上げ)で治療することが決まりました。PCR検査は、市衛生試験場に加えて駿河区の徳洲会病院・葵区の旧青葉小学校跡地・清水区の清水病院にてドライブスルー方式で行うようです。コロナとの長期戦に備えて対応を進めています。

静岡県立高校等は5月31日までの休校が決まり、市立の小中学校も休校延期を余儀なくされます。全中やインターハイが無くなったことは衝撃的でした。夏の高校野球はどうするのか。そして、新学期スタート9月説がマスコミを中心に叫ばれ始めています。子供にとって、彼らの将来にとって真剣に取り組んでいきます。

5月臨時議会には、議員報酬等の1割削減等も決まってきました。患者治療の最前線で活躍する医療従事者等への支援を中心に、新型コロナ対策のための基金を設置し、我々も少しでも大変な方々に寄り添い、この難局を皆で乗り越えたいと思います。

コロナ発症からSNSの配信を控えてきました。「何やってんだ、議員は？」お叱りを受けます。こんな時こそ、必要とされるため、頭を悩ましながら、思いを背中にしよって出来ることを素早く対応していきます。コロナウイルス対策の検証は次回報告しようと思います。その頃には、コロナウイルスの完全終息となっていますよう、もう少し、みんなで「ステイホーム」で頑張らしましょう。ステイホームは女性がいると本当に家が明るくなって、我が家も助けられていると感じます。そして、娘も医療従事者であります。お帰りの拍手をしています。全国の医療従事者とその他すべての関係者皆様の強い意志と勇気に深く感謝しております。

誠にありがとうございます。

令和2年度6月定例会にて一般質問を行います！！

来る6月30日(火)の県議会において、2月定例議会に引き続き、怒涛の勢いで今期3回目の一般質問を行う予定です。時間は14:20頃の予定です。後援会での傍聴は時節柄、会派にて自粛になりましたが、ご都合のつく方はご自由に県議会の雰囲気を感じてみては如何でしょうか。また、インターネット公開がありますのでこちらもどうぞ。質問項目は、新型コロナ感染症対策として、今後の小・中・高・大学の教育方針と対策について。清水港の折戸湾地域について。などを考えています。質問については、次回の地水火風にて報告します。

編集後記

既にご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、7年弱と慣れ親しんだ後援会事務所を移転しました。事務所の電話番号は変わりませんので、今後もお気軽にご連絡下さい。

新事務所住所：八幡5丁目14-13

さて、佐代議員の話にもありますが、すでに一ヶ月以上も「頑張ろう」を続けて皆さんもストレスが溜まって、そろそろ限界という方もいるかと思えます。終わりはきっと来ます。その終わった時のイメージを心の糧に、もう少し「ステイホーム」

令和2年5月吉日発行

発行責任者 林 稔久

編集担当 上條、小泉、島村、田中

静岡市駿河区八幡5丁目14-13

TEL:054-287-0939 FAX:054-286-4096